

環境負荷

事業活動における環境負荷

店舗や本社を含む各事業所では、事業活動にともなって、さまざまな環境負荷が発生します。これらを継続的に軽減していくために、事業活動の環境負荷の状況を調べ、従業員ならびに関係している人々が、それぞれの環境保全活動を実践しています。

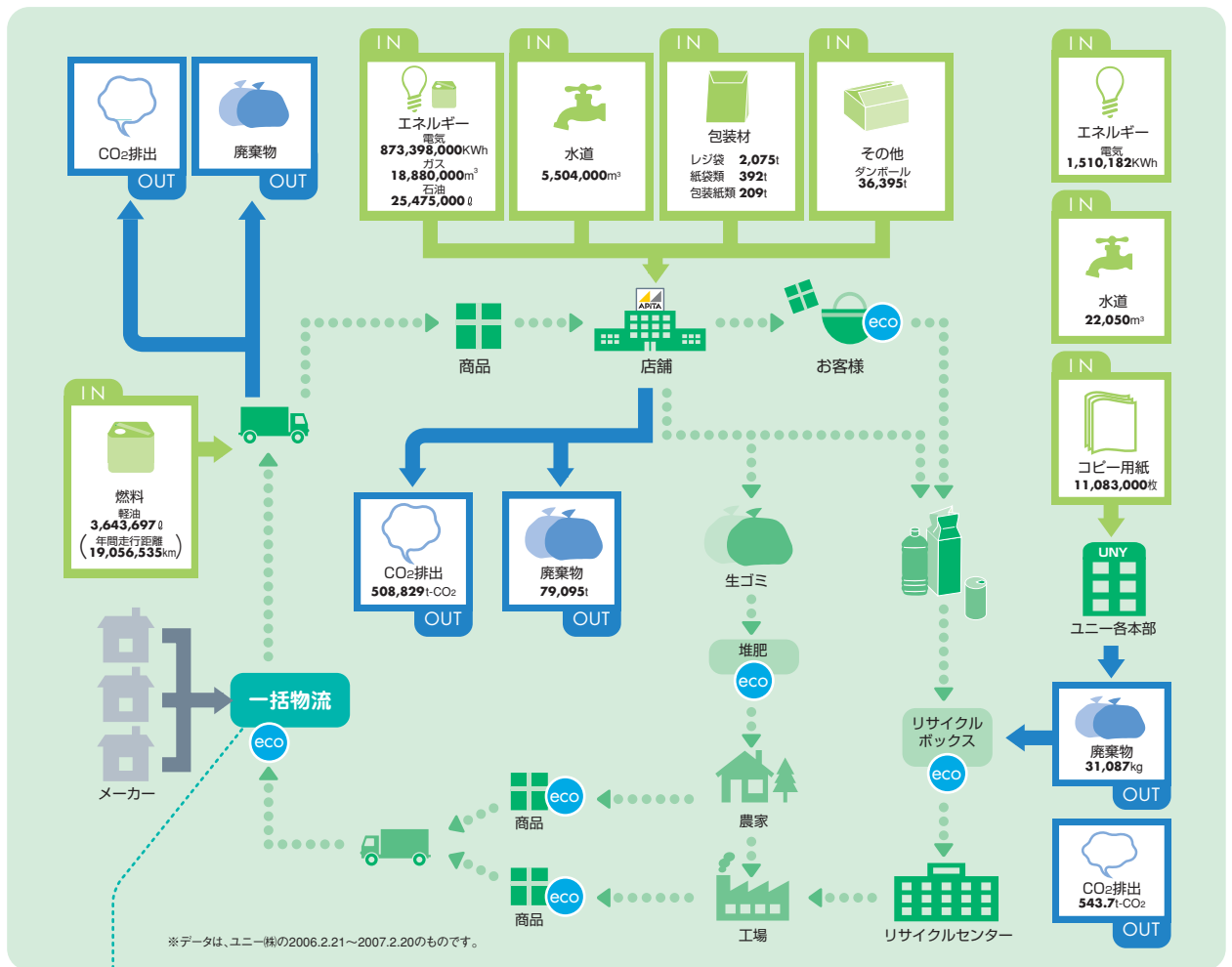
事業活動の環境に対する影響

● 事業活動における環境負荷

店舗や事業所では、照明や空調・その他設備を稼働させるためにたくさんのエネルギーを使用しています。また、店舗に商品を搬入するためにトラック便が走り、燃料を使い排気ガスを排出しています。その他営業活動から排出される廃棄物や、お客様が商品と一緒に

お持ち帰りになる「包装資材」も環境負荷の大きな要素です。ユニーでは、「省エネ省資源」を環境方針に掲げ、できるかぎり環境負荷の少ない企業を目指します。

IN インプット OUT アウトプット eco 環境負荷軽減



営業本部 物流部部长 村井 秀紀



平成18年4月に施行された改正省エネ法に基づき、全ての荷主に省エネ対策を講じられることが要求され、特に輸送量の多い(年間3,000万トンキロ以上)荷主は、特定荷主として特別な義務が課せられることになりました。これを受けてユニー物流部では、エネルギー使用量・二酸化炭素排出量の報告と中長期的に原単位1%削減を目標とする今後の省エネ対策の計画を行政に提出。混載便の運用や車両大型化による便数の削減などの具体策を積極的に講じていく予定です。

弥富物流センター 所長 木村 卓造



当センターでは、熱感知照明設備(庫内・トイレ)による熱エネルギー使用量の削減をはじめ、アイドリングストップの励行、段ボールから折りたたみコンテナ梱包への切り替えによる循環型物流の実現など、設備・運用の両面からさまざまな試みを行っています。また、センター内にリサイクルセンターを併設し、アルミ缶・牛乳パック・トレイ・ペットボトルなどを店舗配送便の帰り便を利用して毎日回収。リサイクル業務の中継地としての役割も担っています。